

# (仮称) 草津駅周辺エリア未来ビジョン策定に向けて

審1-3

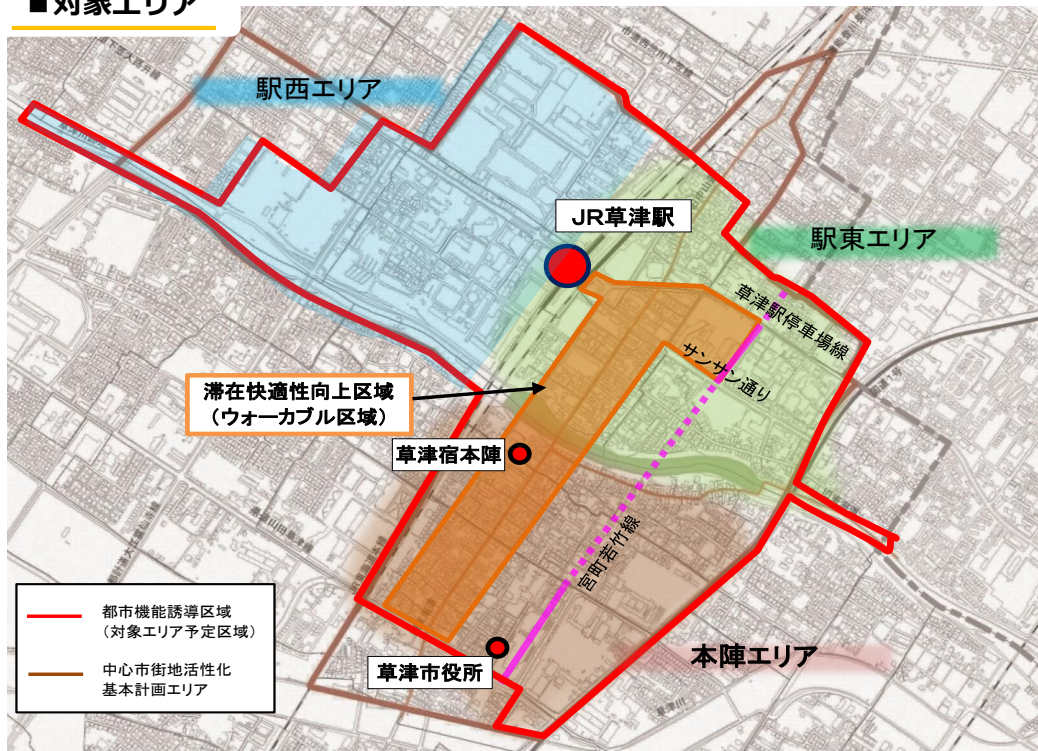
- **策定の目的:** 令和6年度で「草津市中心市街地活性化基本計画(2期)」の計画期間が終了することから、同計画で整備を進めた都市施設や公共空間を官民が連携して使いこなし、市民や事業者などが主役となった民主導による 中心市街地の活性化フェーズへの移行を目指すため、共通のビジョンと推進体制を構築する。
- **策定に向けた取組み:** 未来ビジョン策定および策定後のまちづくりのための意見協議を実施。(中心市街地活性化協議会、市民参加型ワークショップ、フォーラム)。駅前広場等の公共空間を舞台に、プレイヤーが利活用を図る社会実験の実施。

## 策定方針・対象エリア

### ■ 策定方針

道路や公園などの公共空間を人中心のウォーカブルな空間として整備し、まちの”使いこなし”に向けた規制緩和やルール作りを、都市再生推進法人を中心とした官民連携のエリアプラットフォームにて検討していく。

### ■ 対象エリア



## ビジョン策定におけるキーワード

### ●ウォーカブルなまちづくり(公共空間の使いこなし)

ウォーカブル区域の見直し、人中心の空間づくり  
規制緩和やルールの一元化、まちづくり会社の役割拡大  
(駅前デッキ、夢本陣ひろば、道路・公園・広場・店舗等の整備)

### ●JR草津駅前の再活性化

再開発、駅前デッキの利活用、ニワタスのリニューアル

### ●旧東海道、本陣エリアの再生

本陣エリアを中心とした民間活用による景観保全

### ●未利用地の活用

警察署跡地、まちづくりセンター跡地の暫定活用の方針の整理

### ●大型公共施設と“まち”との連携

エリア内の公共施設等管理者、商業者、活動団体等の連携の推進

## ビジョン策定の体制

